

第35回 肝炎医療コーディネーター研修会(ハイブリッド開催)

令和6年 2月 20日(火)

参加申込者数:31名

出席率:77%

出席:24名(会場 11名、Zoom 13名)

欠席:7名(Zoom 7名)

演者・司会・コメンテーター:11名

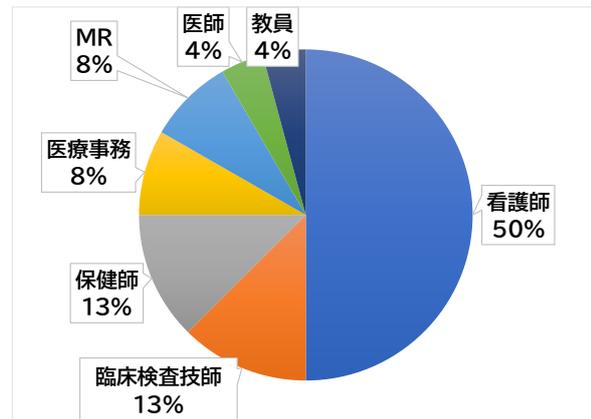
合計参加者:354

アンケート回答者数:21名(演者等含む)

参加者の職業

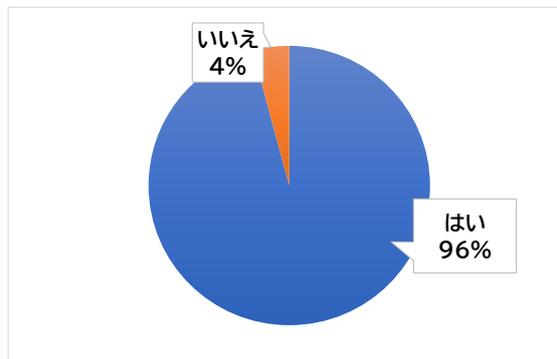
看護師	12
臨床検査技師	3
保健師	3
医療事務	2
MR	2
医師	1
教員	1

※演者・司会・コメンテーターを除く



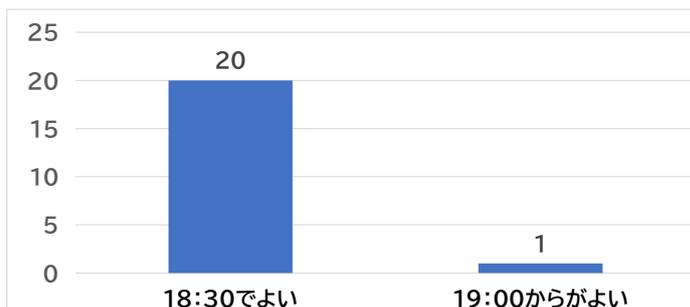
肝炎医療コーディネーターですか？

はい	23
いいえ	1



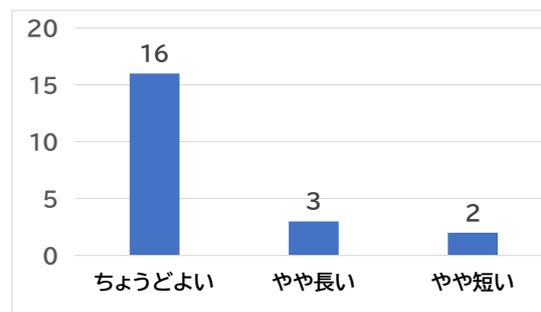
1. 開始時間について

18:30でよい	20
19:00からがよい	1



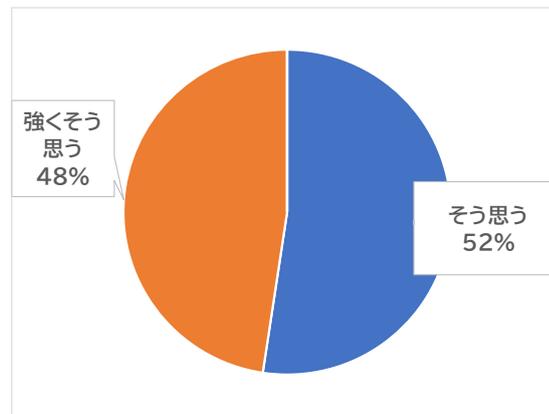
2. 開催時間80分について

ちょうどよい	16
やや長い	3
やや短い	2



3. 今回の研修会は役に立ちましたか、または役にたちそうですか

そう思う	11
強くそう思う	10
どちらとも言えない	0
あまりそう思わない	0
全くそう思わない	0



4. 具体的にどのような点が役にたちそうですか

問題がクリアになった。

難しい申請の流れを知らなかったので話を聞けて良かったです。勉強させてもらえてありがとうございます。

定期検査助成について再認識できました。

定期検査助成

定期検査について詳しく説明をさせていただいて勉強になりました。

知らないこと(フォローUP助成...)を知ることができた。

助成制度について理解が深まりました。

助成の仕組みなどをもっとわかりやすい説明書などをお願いしたいです。

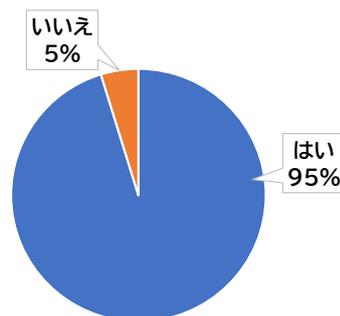
助成についてよく知らなかった。参考になりました。

肝炎ウイルスに関わる制度の理解

助成金の申請を患者に情報提供ができる内容で良かった。県の方から一つずつ細かい説明があったので理解できた。大分県の助成金など1年に1回はこのような場を設けて頂けると嬉しい。2030年の撲滅に向けてフォローアップを行っているので、県はフォローしていない人にも定期受診の必要性を宣伝(ポスターなどで)働きかけてほしい。

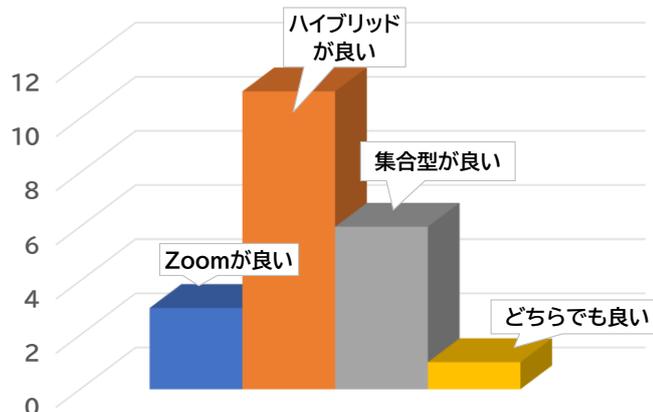
5. 次回参加したいですか

はい	20
いいえ	1



6. 次回研修会の開催方法について

Zoomが良い	3
Zoomと集合型のハイブリッドが良い	11
集合型が良い	6
どちらでも良い	1



7. よろしければその理由をお聞かせください

対面の方が話しやすいです。
多くの方に参加してもらいやすいため
色々な意見を聞いた。
集合型だと時間の都合で参加できないことがある。
仕事の途中で参加できるため
勤務が間に合わない場合、Zoomで参加できる為。
会場に行けない状況でも参加できるので
移動が大変です。
Zoom参加者の意見・内容が確認しにくい。

8. 今後、聞きたい講演や取り上げてほしいテーマ等あれば、自由記述してください。

大変参考になりました。定期検査の助成ももう一度理解して、現場にいかしたいと思います。

毎回ご苦労様です。

・B型肝炎フォロー中の家族に対するの関わり・支援。・今回の助成金について医療機関の提供は！？
・コーディネーターを増やすために大分県がどう活動するか？

HBVの拾い上げ。

助成の問題点をもう少し掘りさげたい。

参加施設一覧

大分県福祉保健部健康づくり支援課
大分県福祉保健部感染症対策課
大分循環器病院
豊後大野市民病院
内科阿部医院
大分県厚生連鶴見病院
津久見中央病院
大分平松総合医療専門学校
日本赤十字社大分赤十字病院
大分市医師会立アルメイダ病院
大分医療センター
聡明会児玉病院
帰巖会みえ病院
臼杵医師会立コスモス病院
宇佐市役所
宇佐高田医師会病院
へつぎ病院
織部消化器科病院
アツヴィ合同会社
ギリアド・サイエンス株式会社

ご参加、ありがとうございました。